

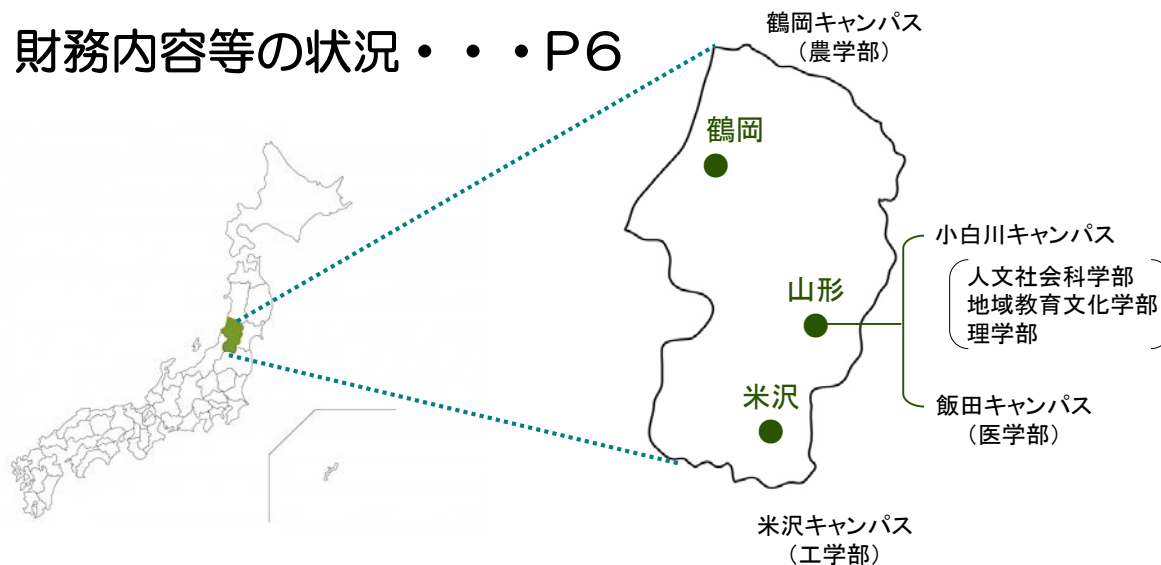
令和2年度に係る業務の実績 【ダイジェスト】

<目 次>

令和2年度に係る業務実績の概要について・・・P1

教育研究等の質の向上の状況・・・P2

業務運営・財務内容等の状況・・・P6



令和2年度に係る業務実績の概要について

令和2年度計画の実施状況は、一部の事業（学生及び教職員の海外派遣、公開講座等）において、コロナウイルス感染症の影響により中止・中断をせざるを得なかったが、全体として十分に実施していると判断した。

また、業務運営、財務、評価、情報提供の項目においては、年度計画を上回って実施している取組があった。

【自己評価の概要】

項目	中期 計画数	年度 計画数	自己評価	
			Ⅳ	Ⅲ
業務運営・財務内容等の状況				
(１) 業務運営の改善及び効率化	8	17	2	15
(２) 財務内容の改善	6	9	1	8
(３) 自己点検・評価、情報提供	4	5	2	3
(４) その他業務運営	5	7	0	7
総 計	23	38	5	33

(参考)

Ⅳ … 「年度計画を上回って実施している」

Ⅲ … 「年度計画を十分に実施している」

Ⅱ … 「年度計画を十分には実施していない」

Ⅰ … 「年度計画を実施していない」

教育研究等の質の向上の状況 ～その1～

研究

●YU-COE（山形大学先進的研究拠点）の推進

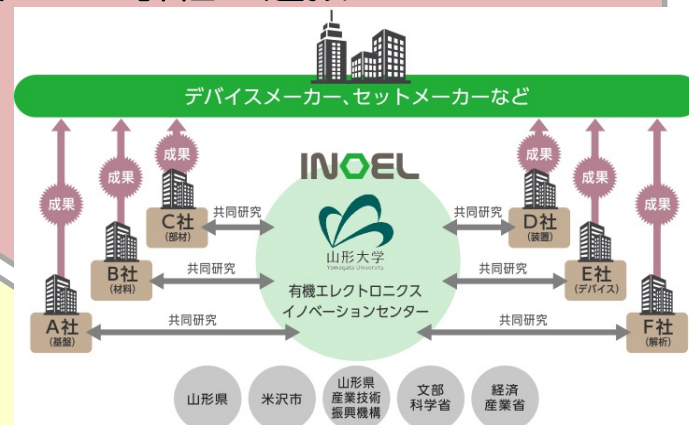
→令和3年度に向け、**創薬研究拠点**を大学全体の研究水準を牽引する拠点として新たに昇格

●山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター（INOEL）

が**経済産業省「地域オープンイノベーション拠点選抜制度」**に採択

→海外・国内グローバル企業や地域企業との産学連携活動を積極的に行い、更なる展開を目指す「国際展開型」の拠点として評価・選抜

●基盤力テストを用いた学修成果の可視化による**教育改善**



●大学院修士課程・博士前期課程における**教育改革**

(1) カリキュラム改革（共通カリキュラムの導入）

→領域横断異分野連携型の学修等により、幅広い視野を持った人材を育成

(2) 教育研究組織の整備

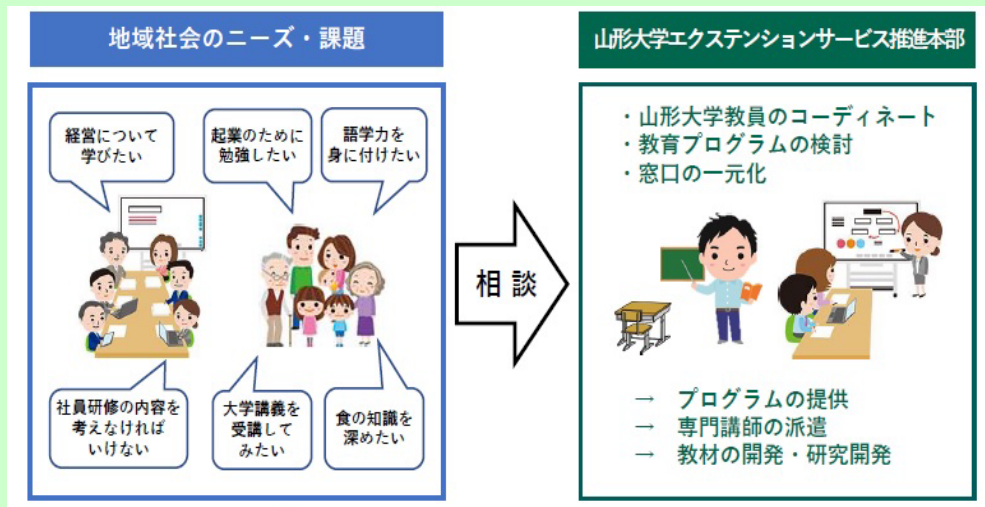
→従来の研究分野を横断した研究指導を行う複数指導教員体制を整備

教育

教育研究等の質の向上の状況 ～その2～

●山形大学エクステンションサービス推進本部（YEX）の設置

→社会人向けオーダーメイド教育を地域社会に提供



●山形県及び市町村との連携による教育プログラムの展開

・ヤマガタシステム（STEM）アカデミー

→選抜された小中学生に対し、ローカルからグローバルな問題解決に必要な科学技術について学ぶ場を提供

・ヤマガタ 夢 ☆ 未来 Girls プロジェクト

→女子中高生が理系に興味を持ちやすいよう工夫したプログラムを提供

社会
連携

国際
交流

●山形大学国際化に関するアクションプランの推進

・キャンパス内の案内及び地図等の英語や留学生にもわかりやすい

「ひらがな」表記の実施

C1	たもくてきるーむ 多目的ルーム Multipurpose Room	C5	ほけんしつ 保健室 Health Administration
C2	としょかん 図書館（入口2F） Library	C6	のうかくふかいがく 農学部会館・ Faculty of Agriculture
C3	だいがくせいきょう・ばいてん 大学生協・売店 Store		
C4	がくせいらうんじ 学生ラウンジ（1F・2F） Student Lounge		

・シラバスなどの学務関連及び事務書類の2言語表記（日本語と英語）の実施

教育研究等の質の向上の状況 ～その3～

附属 病院

- 山形大学医学部東日本重粒子センターでの重粒子線がん治療開始
(重粒子線によるがん治療施設の開設は東北・北海道で初)



- 山形県コホート研究のデータを使用した国際共同研究が、世界5大医学雑誌の一つである米国内科学会誌に掲載

附属 学校

- 時代の要請に応えるための役割・機能の見直し
 - ・山形大学附属学校園「GIGAスクール構想」基本計画及び各学校園における推進計画の策定
 - ・附属学校園の将来構想を具現化する「山形大学附属学校教育振興計画（令和4～9年度）」の作成



教育研究等の質の向上の状況 ～その4～

コロナ 対応



- 感染拡大防止のため、前期授業や後期（1月以降）授業の大部分をオンライン実施
- 通信環境等が十分でない学生に対する学習スペースの開放
- 感染対策の一環として、一部の講義室の座席に二次元コードを貼付
→学生は、講義受講の際に着席した座席の二次元コードをスマートフォンで撮影。
学生の位置情報を大学が一元的に管理することで、次年度から感染者及び濃厚
接触者となった場合において、行動履歴の追跡等迅速な対応が可能に。
- 完全リモートでのオンラインによるインターンシップを試行的に実施
- オンラインによる「バーチャルオープンキャンパス」の開催
- 全学としてコロナウイルス対策経費の確保（約3億円）
→マスク、体温計、アルコール消毒液の購入など感染対策の経費に充当
- 令和2年4月から「新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済的困窮学生支援のための
緊急募金」を開始（山形大学基金）
→奨学金貸与や修学支援金給付、大学生協電子マネーの給付等の事業を実施
延べ3,791人、総額約5,700万円を支援

業務運営・財務内容等の状況 ～その1～

業務運営

★国立大学法人山形大学のガバナンスに関する基本方針制定

- ・ 本学のガバナンスを確保し強化するためにR3、2に新たに制定

★SDGsの貢献に資する経営の推進

- ・ 山形県、山形大学及び山形新聞社によるSDGsの推進に向けた共同宣言を発表
- ・ 「やまがたSDGs推進ネットワーク」を組織

★教育研究組織の整備による機能強化

- ・ 大学院修士課程・博士前期課程の組織整備（R3～）
 - ①社会文化創造研究科の設置 ②農学研究科農学専攻の設置
 - ③理工学研究科建築・デザイン・マネジメント専攻
 - ④理工学研究科化学・バイオ工学専攻 ⑤情報・エレクトロニクス専攻の設置
- ・ 教育研究等支援機能の高度化（データサイエンス教育研究推進本部等）



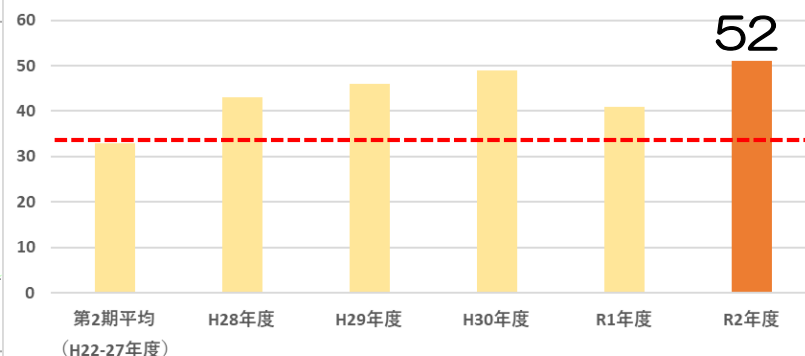
財務内容

★寄附金の獲得に向けた取組

- ・ 「山形大学ファンドレイジング戦略2020」に基づいた戦略的な取組の推進により、受入金額**約5,000万円を達成**

令和2年度の外部資金(研究資金・寄附金等)の獲得金額は**約52億円**となり、第2期(H22-27)の平均金額より**約57%増加**。

外部資金獲得実績（収入ベース）＜単位：億円＞



★は年度計画を上回って実施した取組（自己評価「Ⅳ」）を示す。

業務運営・財務内容等の状況 ～その2～

自己点検・評価／広報

★キャンパス機能の強化

- 「キャンパス経営力評価」の再構築
→各キャンパスの教育研究の質の向上、運営を活性化

★メディアミクスを活用した戦略的情報発信

- メディア採択率74%を達成（目標値は58%）
- コロナ禍に対応するため「山形大学バーチャルオープンキャンパスサイト」を開設
- SDGsの普及啓発のためのウェブサイト「YU-SDGs EmpowerStation」開設



施設

○機能的で魅力あるキャンパス整備

- 医学部メディカルサイエンス推進研究所動物実験センター改修（飯田キャンパス）
- 工学部8号館改修・増築工事（米沢キャンパス）
- 農学部3号館の学生ラウンジ整備、附属農場管理棟の改善整備等（鶴岡キャンパス）

★は年度計画を上回って実施した取組（自己評価「Ⅳ」）を示す。

業務運営・財務内容等の状況 ～その3～

法令遵守

- ・学長主導によるコンプライアンスリスクの総点検を実施

情報セキュリティ

- ・全事務職員向けの情報セキュリティe-learning研修実施→受講率100%
- ・標的型メール訓練を全教職員対象に実施
→対象者数を前年度から1.7倍に拡大するとともに、初のフィッシング型訓練を実施

令和元年度評価・指摘事項への対応

(課題事項：臨床研究に関する倫理指針への不適合に関する課題)

- ・令和元年度に「山形大学における人を対象とする医学系研究に関する規程」を制定し、全学マネジメント体制を整備済。
- ・令和2年度は、上記規程に基づき設置した全学委員会において、各学部の実施状況を点検し、医学系研究について適正に実施していることを確認